

立地企業の認定のお知らせ

令和4年9月22日付けで、株式会社中園工業所（本社：延岡市）を県の立地企業（増設）として認定しましたのでお知らせします。

同社は、延岡市内に8つの工場を持ち、金属製品の製造を中心に業務を行っています。

今回の計画は、半導体製造装置部品等の受注量増加に対応するために生産能力を向上させるほか、災害や感染症対策に係るリスク分散の観点から、既設工場の同一敷地内に工場を増設するものです。

記

- 1 事業所名 株式会社中園工業所 クレアパーク工場（C棟）
- 2 事業所設置場所 延岡市高野町2-1
- 3 事業内容 金属製品（半導体製造装置部品等）の製造

※ 進出計画概要、会社概要、位置図は別添のとおりです。

進 出 計 画 概 要

- 1 工場名 株式会社 中園工業所 クレアパーク工場 (C棟)
- 2 代表者名 代表取締役社長 中園 久志
- 3 工場設置場所 延岡市高野町2-1
- 4 工場概要 敷地面積 2747.8 m²
建築面積 1805.9 m²
延床面積 1805.9 m² (1階床面積 屋内1625.9 m²屋外180 m²)
- 5 設備投資額 476,846 千円
- 6 新規雇用者数 25人
令和5年度 5人
令和6年度 5人
令和7年度 5人
令和8年度 5人
令和9年度 5人
- 7 事業内容 金属製品(半導体製造装置部品等)の製造
- 8 生産計画 令和5年度 3,024,000 千円
令和6年度 3,175,200 千円
令和7年度 3,302,208 千円
令和8年度 3,401,274 千円
令和9年度 3,469,299 千円
- 9 操業計画 着工 令和4年 10月
完成 令和5年 6月
操業開始 令和5年 6月

10 そ の 他

「シリコンアイランド」と呼ばれる九州は、日本における半導体の一大生産拠点であり、多くの半導体製造関連の企業が集中している。日本の半導体産業を担っている地域ではあるが、想定するリスクとして「感染症の流行(新型コロナウイルスの影響長期化)」や南海トラフ地震、近年の大雨等異常気象による災害等があり、有事の際に半導体業界に与える影響は非常に大きいものとなることが想定される。当社は、延岡市内に第1工場(本社)を始めとする8つの工場を有しており、今回新設する工場は9つ目の工場となる。第1工場から第7工場は延岡市街地近辺にあり、第8工場及び本件新設工場は海拔40メートルの工業団地にある。生産拠点の新設(分散化・複線化)は量産体制を整えるだけでなく、今後安定供給(万が一想定するリスクが発生した際、災害を受けた他方で運営を可能とする)を図るものとして非常に重要なものである。また、半導体製造装置の製造・組立に関しては、取引先からも増産を求められており、生産能力向上を図るためにも早急な設備投資が重要である。

会社概要

- 1 企業名 株式会社中園工業所
- 2 代表者 代表取締役社長 中園 久志
- 3 本社所在地 宮崎県延岡市栗野名町 1772-1
- 4 設立年月日 昭和49年8月23日
- 5 資本金 5,000万円
- 6 事業内容 金属製品の製造
- 7 従業員数 98人（正社員 91人、パート 7人）
- 8 売上高 令和3年7月期 23億2,000万円

沿革

昭和41年、川崎重工の子会社でプラント事業などを行う大阪動力工業の下請け会社として発足。旭化成の火力発電所の建設工事やボイラーの維持管理などを経て、昭和49年に機械加工・製缶工事・配管工事を事業とする株式会社中園工業所を設立。平成10年頃から半導体やフラットパネルディスプレイの製造装置の部品加工を依頼されるようになり、事業拡大を図るため、第7工場まで開設。平成31年にはクリーンルームを併設するクリアパーク工場を新設し、機械加工から溶接、検査、組立まで一貫体制の構築を実現。

昭和41年6月	機械加工、製缶加工、配管工事業として発足
昭和49年8月	株式会社中園工業所として設立
昭和63年10月	第2工場購入(製缶工場) 850 m ²
平成12年12月	第3工場購入(機械工場、事務所棟) 1,674 m ²
平成16年6月	第4工場購入(クリーンルーム、溶接、検査棟) 1,950 m ²
平成18年12月	第5工場建設(機械工場) 480 m ²
平成22年6月	第4機械工場建設 438 m ²
平成23年9月	第6工場建設 900 m ²
平成28年3月	第7工場建設 420 m ²
平成31年7月	クリアパーク工場建設 5,500 m ²

案内図



詳細図

